

江別市

ついでしかり

# 対雁2遺跡(4)

—石狩川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—

平成13・14年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター



遺跡遠景（新石狩大橋より） N→S



調査風景 S→N



地層断面・南北ライン (65-148-エ～68-148-エ) NE→SW



地層断面・東西ライン (67-144～67-145) NE→SW



石製品・土製品



クマと見られる土製品



クマと見られる土製品

## 例 言

- 1 本書は、石狩川改修工事に伴い財団法人北海道埋蔵文化財センターが江別市対雁2遺跡で実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書である。対雁2遺跡の調査報告書として4冊目となる。
- 2 本書は平成13・14年度の調査成果を収録し、発掘範囲の重複する平成11年度調査成果の一部も改めて検討の上再録している。11・13年度成果の一部は既刊の報告書に発表した。本書の内容を正式の報告とする。
- 3 調査は当財団第2調査部第5調査課(13年度、課長三浦正人)・同第4調査課(14年度、課長同)が担当した。同課の調査員三浦・鈴木 信・西脇対名夫・吉田裕吏洋・酒井秀治が調査業務を分担し、その指示のもと財団臨時職員が作業にあたった。
- 4 当財団が酪農学園大学環境システム学部の「地域実習」を受け入れたことに伴い平成13・14年9月に延べ10名の同学部生が、また平成14年7月に北海学園大学人文学部生1名が同学部の「ボランティア活動論」授業の実習として、それぞれ無償で発掘作業を補助した。
- 5 平成13・14年度の<sup>14</sup>C年代測定は株式会社地球科学研究所、古環境調査はパリノ・サーヴェイ株式会社に、また14年度測量業務の一部は株式会社シン技術コンサル、遺物実測図作成業務の一部は株式会社日立エンジニアリングに委託しておこなった。
- 6 本書の執筆及び図表・写真の構成は目次に示した分担で調査員がおこない、同一項目の執筆者が複数の場合は本文中に括弧で文責を示した。編集は西脇が担当した。
- 7 本文中では主に文献の編者を表記する際に以下のような省略形を用いた。

石建：北海道開発局石狩川開発建設部、財団道埋文：財団法人北海道埋蔵文化財センター、  
教委：教育委員会、埋文：埋蔵文化財センターまたは埋蔵文化財調査センター

- 8 調査の実施にあたり下記の諸機関・諸氏の御教示・御協力を頂いたことを記して感謝する。

石狩川開発建設部江別河川事務所、江別市建設部土木事務所、江別市教育委員会、  
独立行政法人北海道開発土木研究所、北海学園大学人文学部、北海道大学埋蔵文化財調査室、  
酪農学園大学環境システム学部

青木 誠、青野友哉、赤石慎三、秋山洋二、天野哲也、飯田 基、石井 淳、石川 朗、  
石川直章、石橋孝夫、石本省三、出穂雅実、伊藤兼平、稲垣和幸、乾 哲也、乾 芳宏、  
上野秀一、右代啓視、白杵 勲、卜部信臣、上屋真一、遠藤龍畝、大島直行、大谷敏三、  
大津 直、大沼忠春、大林千春、大矢義明、葛西智義、柏木大延、加藤邦雄、加藤博文、  
金盛典夫、兼平一志、川内谷 修、北澤 実、君 尹彦、木村英明、工藤研治、工藤 肇、  
工藤義衛、工藤雅樹、熊木哲朗、小林幸雄、小杉 康、今野公顕、斎野裕彦、榊原正文、  
坂本真弓、佐藤一志、佐藤和利、佐藤智雄、佐藤由紀男、佐藤嘉広、澤田 健、設楽博巳、  
柴田信一、島原弘征、鈴木琢也、杉浦重信、瀬川拓郎、関 信行、関 秀志、関矢新一郎、  
仙庭伸久、園部真幸、高倉 純、高瀬克範、高橋 理、高橋和樹、高橋信一、高橋正勝、  
高橋 護、高間和儀、武田 修、田才雅彦、田中和夫、田中哲郎、田中利一、田中 實、  
田村公一、田村俊之、丹治篤嘉、千葉英一、角田隆志、椿坂恭代、鶴丸俊明、寺崎康史、

友田哲弘、豊田宏良、豊田賢大、直井孝一、長崎潤一、長町章弘、成田滋彦、西 幸隆、野中一宏、野村 崇、野村祐一、羽賀憲二、長谷山隆博、林 謙作、平川善祥、深澤芳樹、福田正宏、藤井誠二、松田 功、松田淳子、松田 猛、松谷純一、三浦孝一、三浦武司、宮 宏明、宗像公司、森 淳、森 秀之、森岡健治、森田知忠、守屋豊人、安井幸雄、藪中剛司、山田悟郎、山田昌久、山本 巖、横須賀倫達、吉田玄一、渡辺眞志、渡部 学

報告書抄録

ふりがな	えべつし ついしかりにいせきかっこし							
書名	江別市 対雁2遺跡 (4)							
副書名	石狩川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	なし							
シリーズ名	財団法人北海道埋蔵文化センター調査報告書							
シリーズ番号	第193集							
編著者名	三浦正人・鈴木 信・西脇対名夫・吉田裕吏洋・酒井秀治							
編集機関	財団法人北海道埋蔵文化センター							
所在地	〒069-0832 江別市西野幌 685-1 電話(011)386-3231 Eメール mail@domaibun.or.jp							
発行機関	財団法人北海道埋蔵文化センター							
発行年月日	平成15年(西暦2003)年3月28日							
ふりがな 収録遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査 面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ついでしかり 対雁2遺跡	えべつし こうえいちよう 江別市工業町 ぼんち 28番地	01217	A-02-110	43度 07分 45秒 前後	141度 31分 04秒 前後	19990601~ 19990930 20010508~ 20011031 20020507~ 20021031	3,450 ㎡	河川改修に伴う記録保存
所収遺跡名	種 別	主な時代	主 な 遺 構		主な遺物	特 記 事 項		
対雁2遺跡	遺物包含地	縄文時代 晩期後葉、 統縄文時代 前葉	土坑 焼土	135 792	土器 石器 動物形土製品	古自然堤防中に形成された 生活面245単位にわたる多層遺跡		

遺跡番号は北海道埋蔵文化財包蔵地周知資料登載番号、経緯度は世界測地系による。

# 目次

口絵

例言

報告書抄録

目次

I	調査の経緯	(三浦)	1
II	調査の方法		
1	調査範囲	(酒井)	7
2	土工	(酒井)	9
3	測量と記録	(酒井・吉田・西脇)	11
4	資料整理	(酒井・吉田・西脇)	13
5	保管	(酒井)	16
III	遺跡の環境	(西脇)	17
IV	遺構		
1	記載の方法	(酒井・西脇)	55
2	土坑	(酒井・鈴木・西脇・吉田)	57
3	焼土	(酒井)	90
4	集石・剥片集中・細円礫集中	(酒井)	137
V	遺物		
1	土器	(西脇)	167
2	石器等・石製品・土製品	(酒井)	261
3	焼成粘土塊	(西脇)	272
VI	自然科学的分析		
1	年代測定結果	(株式会社地球科学研究所・酒井)	297
2	対雁2遺跡の自然科学的分析	(バリノ・サーヴェイ株式会社・西脇)	300
	引用文献		313
	写真図版	(吉田)	図版 II-1~V-22

## 挿図目次

### I 調査の経緯

図 I-1 各年度の発掘範囲	4
----------------	---

### II 調査の方法

図 II-1 発掘区の設定 (1)	6
図 II-2 発掘区の設定 (2)	7
図 II-3 掘削範囲	10

### III 遺跡の環境

図 III-1 遺跡の位置	17
図 III-2 遺跡付近の地形	18
図 III-3 治水地形分類と遺跡の位置	20
図 III-4 地層断面図の変化	25
図 III-5 67 線 上地層断面	27・29
図 III-6 67・69 線 上地層断面	31・33・35・37
図 III-7 153 線 半上地層断面	39
図 III-8 156 線 半上地層断面	41
図 III-9 141 線・148 線 半上地層断面	43
図 III-10 重機坪掘坑地層断面	51

### IV 遺構

図 IV-1 土坑の位置	57
図 IV-2 土坑 (1)	59
図 IV-3 土坑 (2)	60
図 IV-4 土坑 (3)	63
図 IV-5 土坑 (4)	64
図 IV-6 土坑 (5)	67
図 IV-7 土坑 (6)	68
図 IV-8 土坑 (7)	71
図 IV-9 土坑 (8)	72
図 IV-10 土坑 (9)	75
図 IV-11 土坑 (10)	76
図 IV-12 土坑 (11)	79
図 IV-13 土坑 (12)	80
図 IV-14 土坑 (13)	83
図 IV-15 土坑 (14)	84
図 IV-16 土坑 (15)	87
図 IV-17 土坑 (16)	88
図 IV-18 焼土の分布	91
図 IV-19 焼土 (1)	92
図 IV-20 焼土 (2)	93
図 IV-21 焼土 (3)	94

図 IV-22 焼土 (4)	95
図 IV-23 焼土 (5)	96
図 IV-24 焼土 (6)	97
図 IV-25 焼土 (7)	98
図 IV-26 焼土 (8)	99
図 IV-27 焼土 (9)	100
図 IV-28 焼土 (10)	101
図 IV-29 焼土 (11)	102
図 IV-30 焼土 (12)	103
図 IV-31 焼土 (13)	104
図 IV-32 焼土 (14)	105
図 IV-33 焼土 (15)	106
図 IV-34 焼土 (16)	107
図 IV-35 焼土 (17)	108
図 IV-36 焼土 (18)	109
図 IV-37 焼土 (19)	110
図 IV-38 焼土 (20)	111
図 IV-39 焼土 (21)	112
図 IV-40 焼土 (22)	113
図 IV-41 焼土 (23)	114
図 IV-42 焼土 (24)	115
図 IV-43 焼土 (25)	116
図 IV-44 焼土 (26)	117
図 IV-45 焼土 (27)	118
図 IV-46 焼土 (28)	119
図 IV-47 焼土 (29)	120
図 IV-48 焼土 (30)	121
図 IV-49 焼土 (31)	122
図 IV-50 焼土 (32)	123
図 IV-51 焼土 (33)	124
図 IV-52 焼土 (34)	125
図 IV-53 焼土 (35)	126
図 IV-54 焼土 (36)	127
図 IV-55 焼土 (37)	128
図 IV-56 焼土 (38)	129
図 IV-57 焼土 (39)	130
図 IV-58 焼土 (40)	131
図 IV-59 焼土 (41)	132
図 IV-60 焼土 (42)	133
図 IV-61 焼土 (43)	134
図 IV-62 焼土 (44)	135
図 IV-63 焼土断面・集石	136

### V 遺物

図 V-1 縄文土器 (1)	169
図 V-2 縄文土器 (2)	170
図 V-3 縄文土器 (3)	171
図 V-4 縄文土器 (4)	172

図 V-5	縄文土器 (5)	173
図 V-6	縄文土器 (6)	174
図 V-7	縄文土器 (7)	175
図 V-8	縄文土器 (8)	176
図 V-9	縄文土器 (9)	177
図 V-10	縄文土器 (10)	178
図 V-11	縄文土器 (11)	179
図 V-12	縄文土器 (12)	180
図 V-13	縄文土器 (13)	181
図 V-14	縄文土器 (14)	182
図 V-15	縄文土器 (15)	183
図 V-16	縄文土器 (16)	184
図 V-17	縄文土器 (17)	185
図 V-18	縄文土器 (18)	186
図 V-19	縄文土器 (19)	187
図 V-20	縄文土器 (20)	188
図 V-21	縄文土器 (21)	189
図 V-22	縄文土器 (22)	190
図 V-23	縄文土器 (23)	191
図 V-24	縄文土器 (24)	192
図 V-25	縄文土器 (25)	193
図 V-26	縄文土器 (26)	194
図 V-27	縄文土器 (27)	195
図 V-28	縄文土器 (28)	196
図 V-29	縄文土器 (29)	197
図 V-30	縄文土器 (30)	198
図 V-31	縄文土器 (31)	199
図 V-32	縄文土器 (32)	200
図 V-33	縄文土器 (33)	201
図 V-34	縄文土器 (34)	202
図 V-35	縄文土器 (35)	203
図 V-36	縄文土器 (36)	204
図 V-37	縄文土器 (37)	205
図 V-38	縄文土器 (38)	206
図 V-39	縄文土器 (39)	207
図 V-40	縄文土器 (40)	208
図 V-41	縄文土器 (41)	209
図 V-42	縄文土器 (42)	210
図 V-43	縄文土器 (43)	211
図 V-44	縄文土器 (44)	212
図 V-45	縄文土器 (45)	213
図 V-46	縄文土器 (46)	214
図 V-47	縄文土器 (47)	215
図 V-48	縄文土器 (48)	216
図 V-49	縄文土器 (49)	217
図 V-50	縄文土器 (50)	218
図 V-51	縄文土器 (51)	219
図 V-52	縄文土器 (52)	220

図 V-53	縄文土器 (53)	221
図 V-54	縄文土器 (54)	222
図 V-55	縄文土器 (55)	223
図 V-56	縄文土器 (56)	224
図 V-57	縄文土器 (57)	225
図 V-58	縄文土器 (58)	226
図 V-59	縄文土器 (59)	227
図 V-60	縄文土器 (60)	228
図 V-61	縄文土器 (61)	229
図 V-62	縄文土器 (62)	230
図 V-63	縄文土器 (63)	231
図 V-64	縄文土器 (64)	232
図 V-65	縄文土器 (65)	233
図 V-66	縄文土器 (66)	234
図 V-67	縄文土器 (67)	235
図 V-68	縄文土器 (68)	236
図 V-69	縄文土器 (69)	237
図 V-70	縄文土器 (70)	238
図 V-71	縄文土器 (71)	239
図 V-72	縄文土器 (72)	240
図 V-73	縄文土器 (73)	241
図 V-74	縄文土器 (74)	242
図 V-75	縄文土器 (75)	243
図 V-76	縄文土器 (76)	244
図 V-77	縄文土器 (77)	245
図 V-78	縄文土器 (78)	246
図 V-79	縄文土器 (79)・続縄文土器 (1)	247
図 V-80	続縄文土器 (2)	248
図 V-81	土坑の石器等 (1)	262
図 V-82	土坑の石器等 (2)・集石の石器等 (1)	263
図 V-83	集石の石器等 (2)	264
図 V-84	焼土・包含層の石器等 (1)	265
図 V-85	焼土・包含層の石器等 (2)	267
図 V-86	焼土・包含層の石器等 (3)	268
図 V-87	焼土・包含層の石器等 (4)	270
図 V-88	焼土・包含層の石器等 (5)	271

## 表目次

### III 遺跡の環境

表 III-1	層面一覧 (67線上)	44-47
表 III-2	層面一覧 (69線上)	48・49
表 III-3	13・14年度層面と11・12年度層名の対比	53

#### IV 遺構

表 IV-1 生活面一覧	138~142
表 IV-2 遺構一覧	143~155
表 IV-3 遺構土壌フローテーション成果一覧	156~165

#### V 遺物

表 V-1 遺物集計	273~278
表 V-2 掲載土器一覧	279~293
表 V-3 各類型土器の出土層位	294
表 V-4 掲載石器等一覧	295・296

#### VI 自然科学的分析

表 VI-1 年代測定試料一覧（地球科学研究所実施分）	297
表 VI-2 年代測定試料一覧（パリノ・サーヴェイ実施分）	300

### 写真図版目次

#### II 調査の方法

図版 II-1 遺跡遠景
図版 II-2 平成 11 年度の発掘
図版 II-3 平成 13 年度の発掘 (1)
図版 II-4 平成 13 年度の発掘 (2)
図版 II-5 平成 14 年度の発掘 (1)
図版 II-6 平成 14 年度の発掘 (2)

#### III 遺跡の環境

図版 III-1 地層断面 (1)
図版 III-2 地層断面 (2)

#### IV 遺構

図版 IV-1 土坑 (1)
図版 IV-2 土坑 (2)
図版 IV-3 土坑 (3)
図版 IV-4 土坑 (4)
図版 IV-5 土坑の遺物 (1)
図版 IV-6 土坑の遺物 (1)
図版 IV-7 土坑の遺物 (3)
図版 IV-8 土坑の遺物 (4)
図版 IV-9 焼土 (1)
図版 IV-10 焼土 (2)
図版 IV-11 焼土 (3)

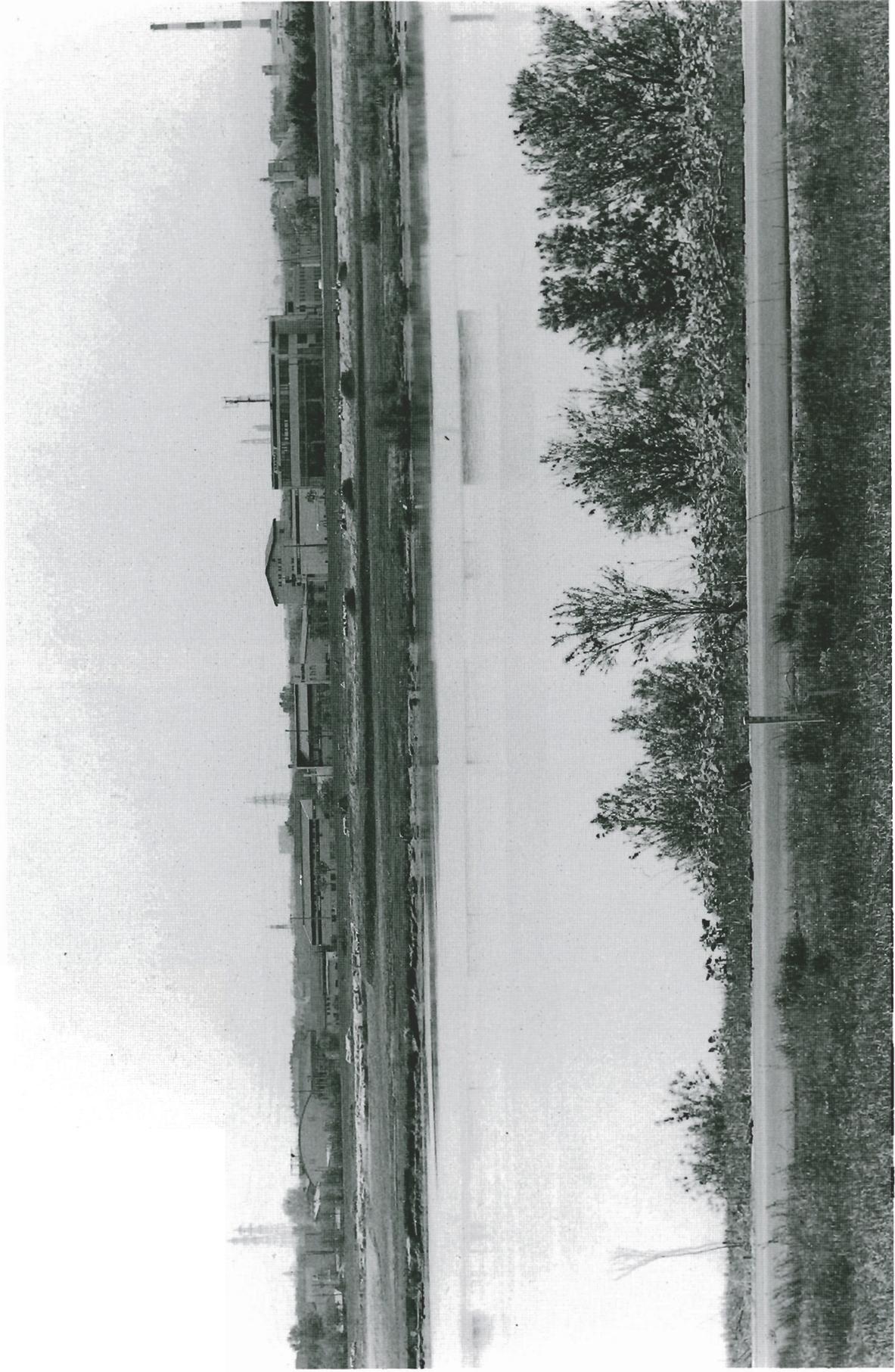
図版 IV-12 焼土 (4)
図版 IV-13 焼土 (5)
図版 IV-14 焼土 (6)
図版 IV-15 焼土 (7)
図版 IV-16 集石
図版 IV-17 集石の遺物 (1)
図版 IV-18 集石の遺物 (2)

#### V 遺物

図版 V-1 遺物出土状況・平成 11 年度の発掘
図版 V-2 遺物出土状況・平成 13 年度の発掘 (1)
図版 V-3 遺物出土状況・平成 13 年度の発掘 (2)
図版 V-4 遺物出土状況・平成 14 年度の発掘
図版 V-5 縄文土器の個体 (1)
図版 V-6 縄文土器の個体 (2)
図版 V-7 縄文土器の個体 (3)
図版 V-8 縄文土器の個体 (4)
図版 V-9 縄文土器の個体 (5)
図版 V-10 縄文土器の個体 (6)
図版 V-11 縄文土器の個体 (7)
図版 V-12 縄文土器の個体 (8)
図版 V-13 縄文土器の個体 (9)
図版 V-14 縄文土器の個体 (10) ・続縄文土器
図版 V-15 土器の製作技術 (1)
図版 V-16 土器の製作技術 (2)
図版 V-17 土器の製作技術 (3)
図版 V-18 土器の製作技術 (4)
図版 V-19 焼土・包含層の石器 (1)
図版 V-20 焼土・包含層の石器 (2)
図版 V-21 包含層の石製品・土製品
図版 V-22 焼成粘土塊

## 写真図版

石狩川対岸より NE→SW



遺跡遠景



調査風景（142ライン）S→N



150ライントレンチ位置 N→S



調査風景（158ライン）S→N



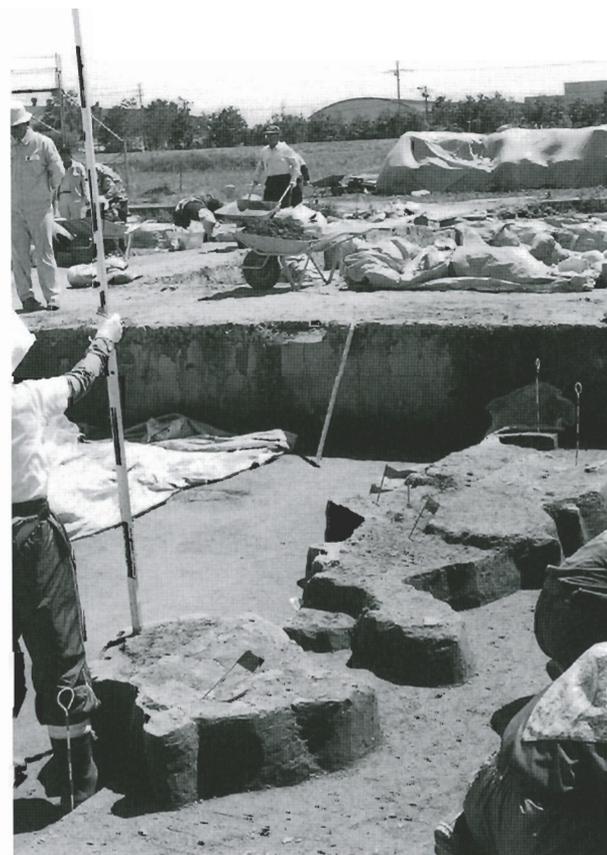
調査風景（158ライン）NE→SW



調査風景 S→N



調査風景 (67-158-アイ) SW→NE



焼土実測状況 (F-298) N→S

平成 13 年度の発掘 (1)



調査風景 (69-157-ウ) SW→NE



調査風景 (69-157) W→E



調査風景 NW→SE



調査風景（149ラインより東）W→E



調査風景（141ラインより西）SE→NW

平成14年度の発掘（1）



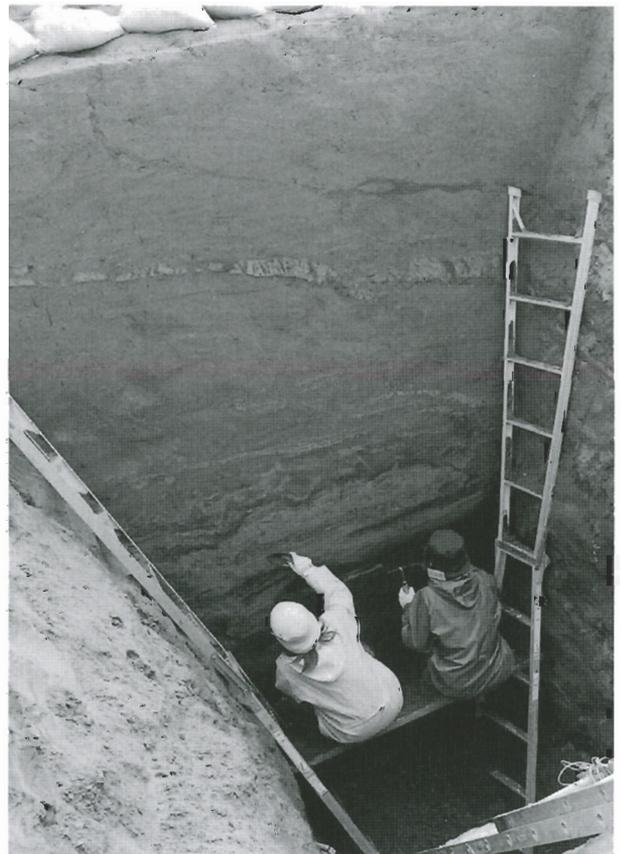
調査風景 (66-155) NE→SW



調査風景 (P-138~140) SW→NE



調査風景 (F-783) NW→SE



試掘坑清掃作業 (64-130) E→W



試掘調査 (70-153) W→E



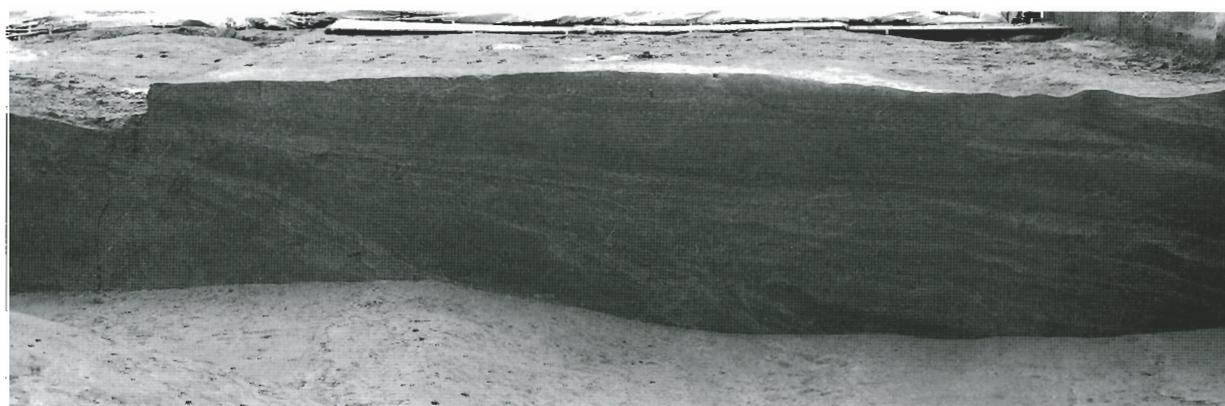
南北ライン (65-148-エ～68-148-エ) NE→SW



南北ライン (69-156-エ～71-156-エ) SE→NE



東西ライン (67-146～148) NE→SW

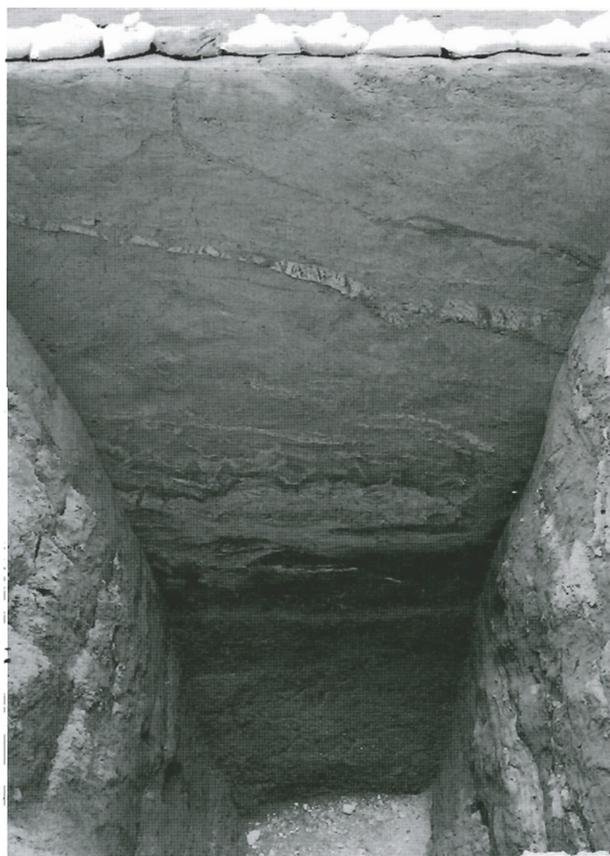


東西ライン (67-156-エ～67-157-エ) NE→SW

地層断面 (1)



東西ライン (69-156-ア～エ) SW→NE



試掘抗断面 (64-130) NE→SW



試掘抗断面 (66-150) NE→SW

地層断面 (2)



P-1 遺物出土状況 SW→NE



P-26 土層断面・遺物出土状況 E→W



P-28 遺物出土状況 N→S



P-30 遺物出土状況 (手前 P-78) E→W



P-35 遺物出土状況 N→S



P-37 遺物出土状況 N→S



P-38・39・40 完掘 E→W



P-34 遺物出土状況 NW→SE



P-41・42 確認状況 SW→NE



P-48 土層断面 NE→SW



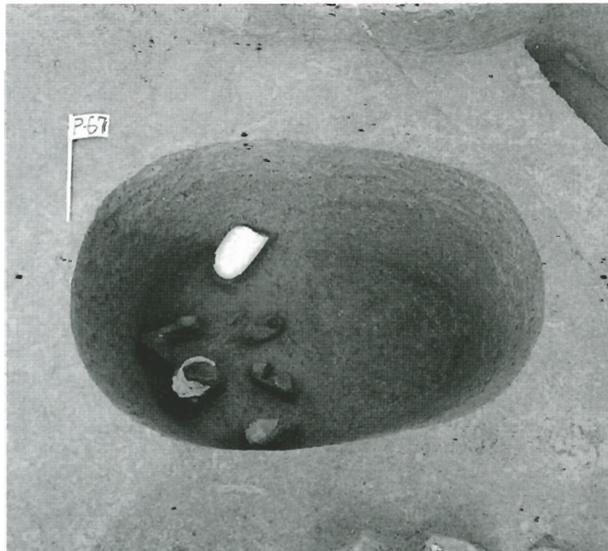
P-49 遺物出土状況 NE→SW



P-56 遺物出土状況 W→E



P-63・F-496 検出状況 SW→NE



P-67 遺物出土状況 SE→NW



P-71 完掘 SW→NE

土 坑 (3)



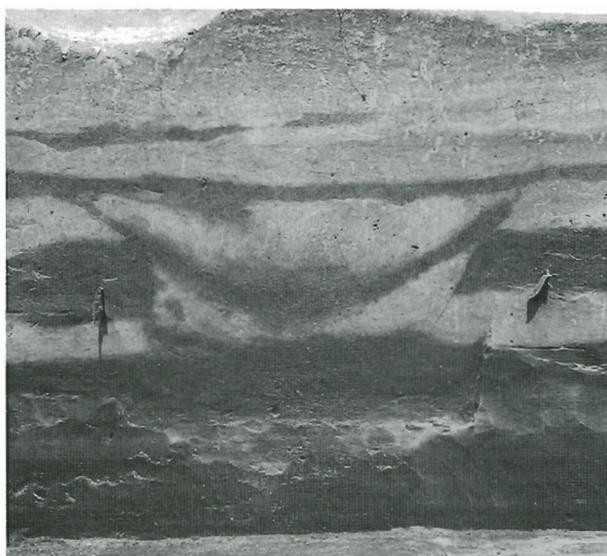
P-97 土層断面 SW→NE



P-104 完掘 E→W



P-118 白粘土塊檢出狀況 S→N



P-123 土層断面 SE→NW



P-146 白粘土塊檢出狀況 SW→NE



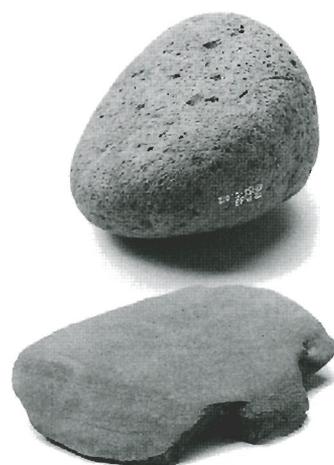
P-152 白粘土塊檢出狀況 N→S



P-28 (N2)



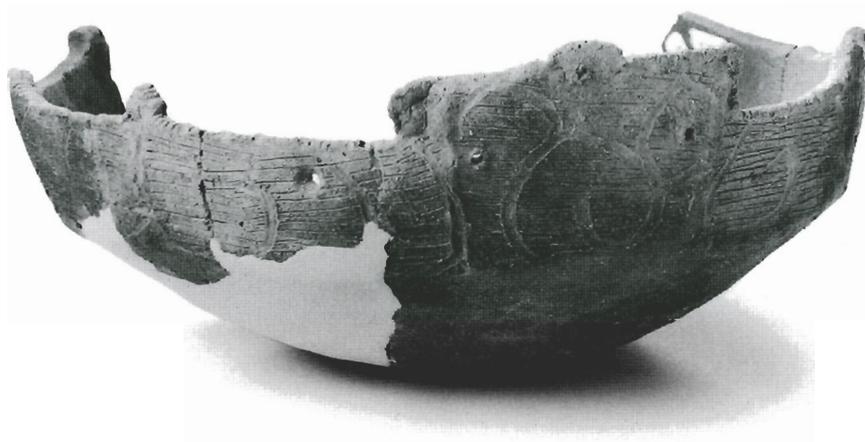
P-30



P-33



P-30+33



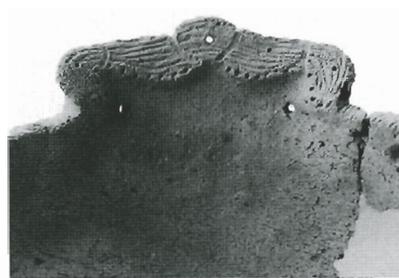
P-35 (N30)



P-41



P-46



P-35 (N30 内面)



P-48

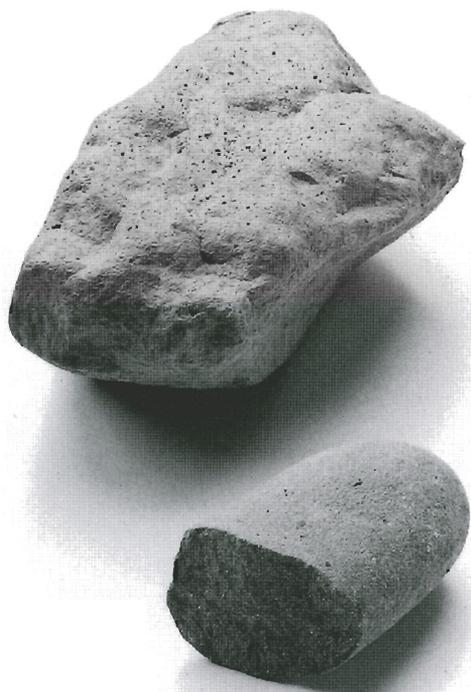
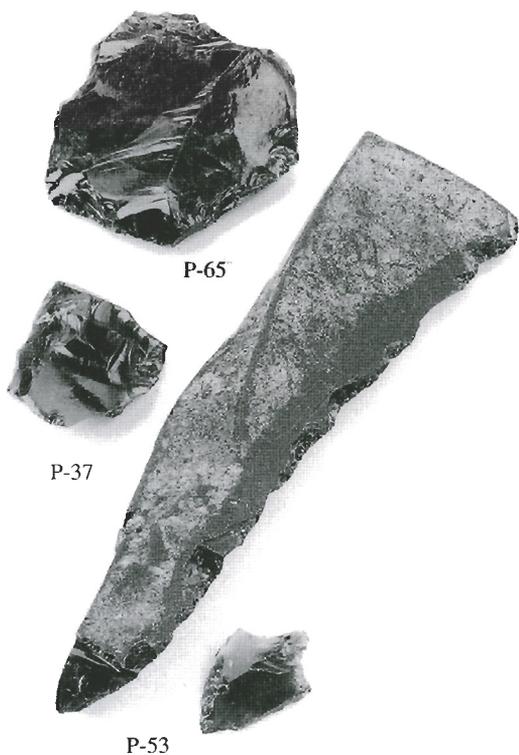


P-48



P-49

土坑の遺物(2)

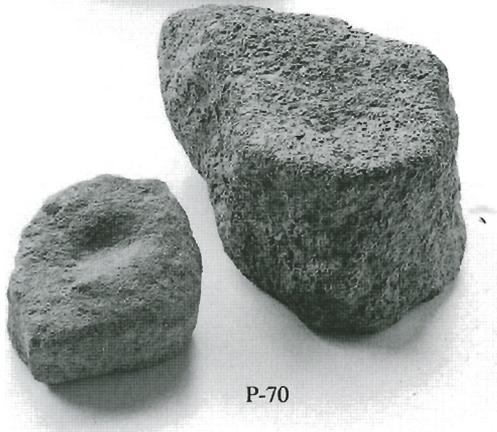




P-71



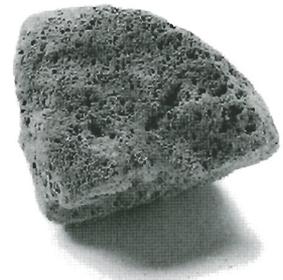
P-71



P-70



P-70



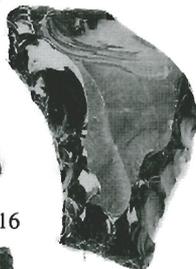
P-92



P-105



P-116



P-104



P-97



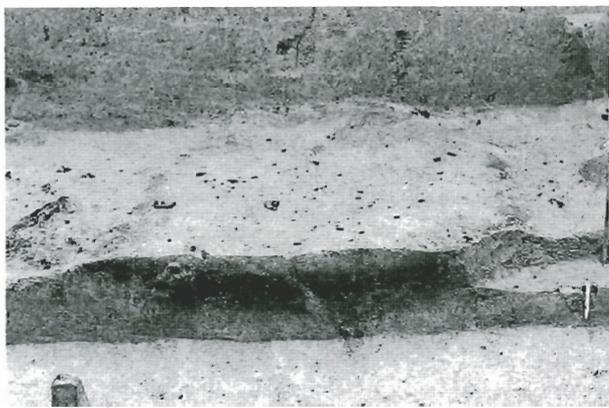
P-93



P-107



F-44 断面 NW→SE



F-46 断面 SE→NW



F-74 断面 S→N



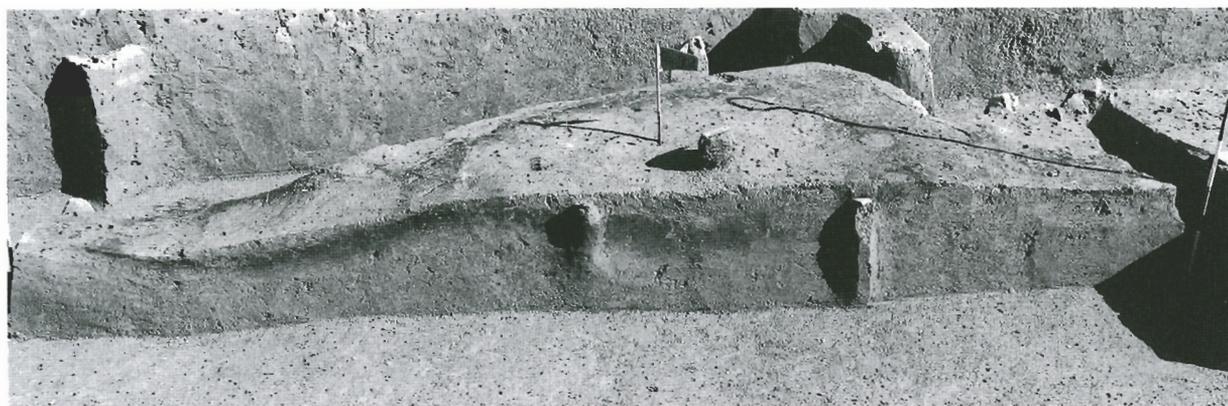
F-61・62・63・69・70・72・73・74・82 検出状況 SW→NE



F-78・79・80・86 検出状況 SE→NW



F-41・47・78・80 断面 NE→SW



F-92 断面 NW→SE



F-90・91・104・105・106・110 検出状況 NE→SW



F-105・106 検出状況 S→N



F-113 検出状況 SW→NE



F-308 断面 SE→NW



F-340 断面 N→S



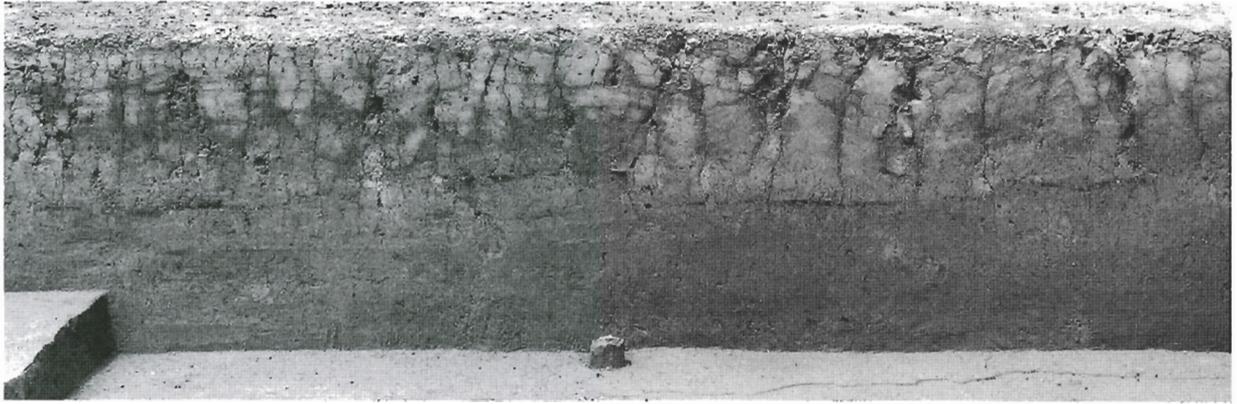
F-341 検出状況 NW→SE



F-384 検出状況 S→N



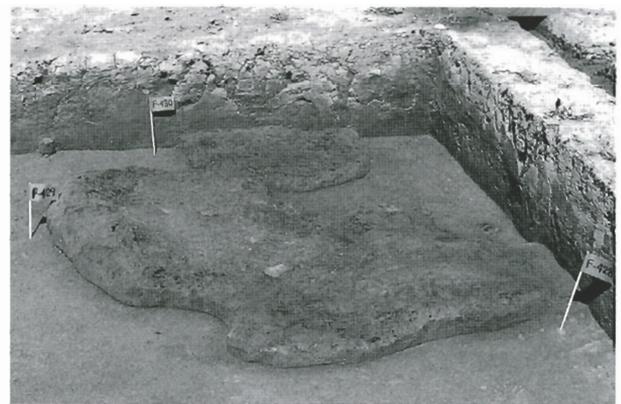
F-390・444・447 検出状況 E→W



F-390・299・392・345 断面 (右から) SE→NW



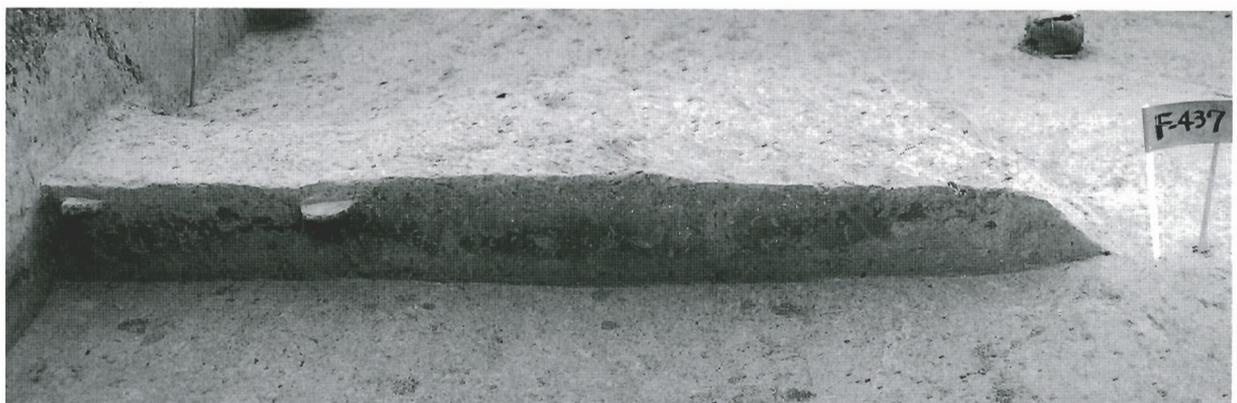
F-412 検出状況 NE→SW



F-428・429・430 検出状況 SE→NW



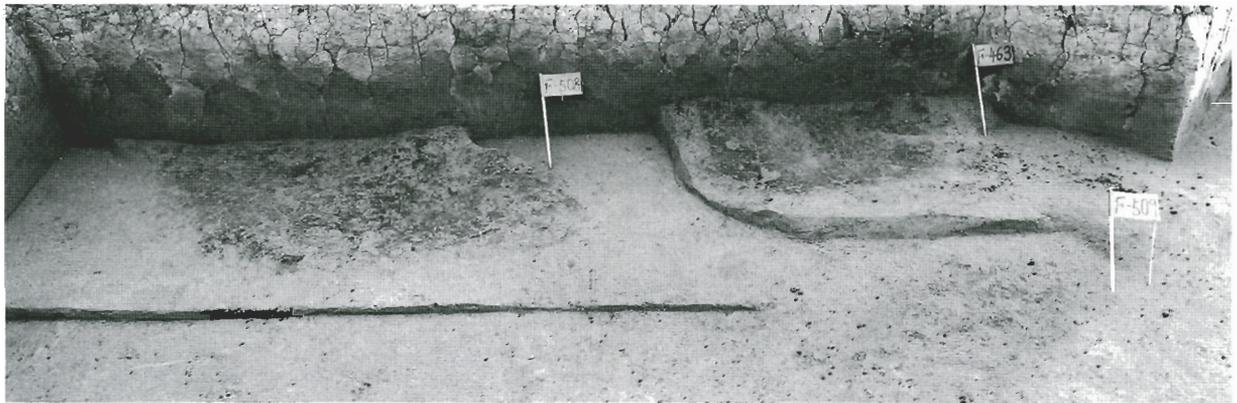
F-459 検出状況 SW→NE



F-437 (右)・446 (左) 断面 SW→NE



F-452・453断面 S→N



F-463・508・509検出状況 SW→NE



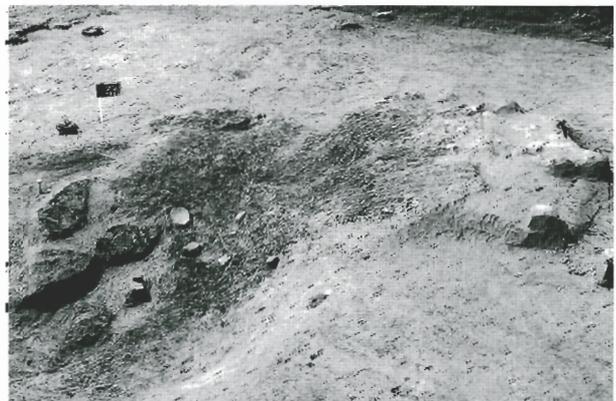
F-462断面 N→S



F-511断面・F-524検出状況 SW→NE



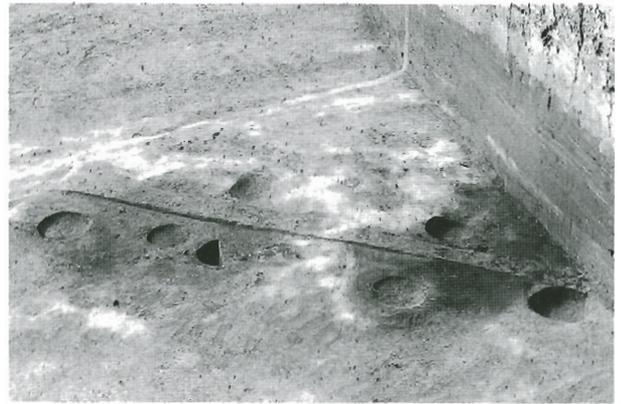
F-518検出状況 NW→SE



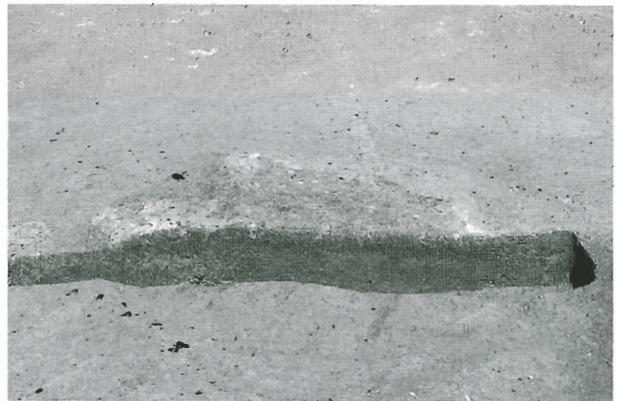
F-574検出状況 E→W



F-539 検出状況 W→E



F-563 検出状況 SE→NW



F-570 断面 SW→NE



F-696 検出状況 SW→NE



F-730 検出状況 S→N



F-755 検出状況 N→S



F-795 検出状況 SW→NE



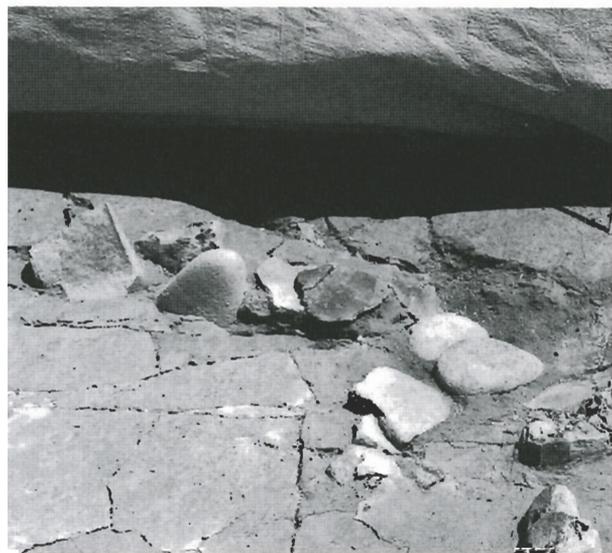
F-818 断面 S→N



F-914 (左上) ・ 919 (右) ・ 922 (左下) 断面 NE→SW



F-922 断面 S→N



S-15 検出状況 W→E



S-16 検出状況 N→S



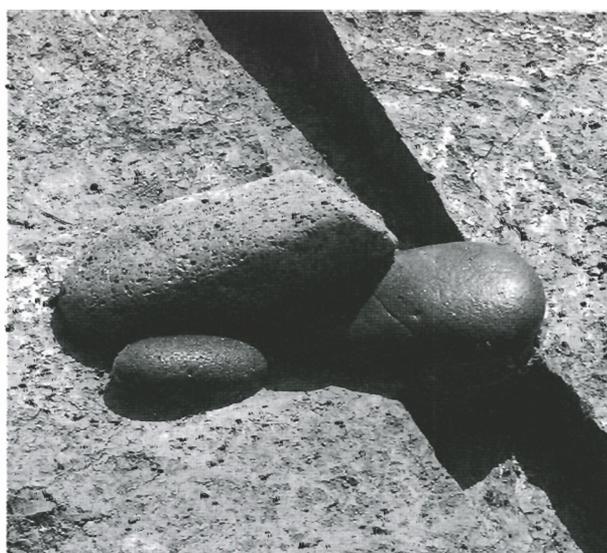
S-17 検出状況 W→E



S-18 検出状況 W→E



S-19 検出状況 N→S



S-20 検出状況 N→S

集 石



S-5



S-15

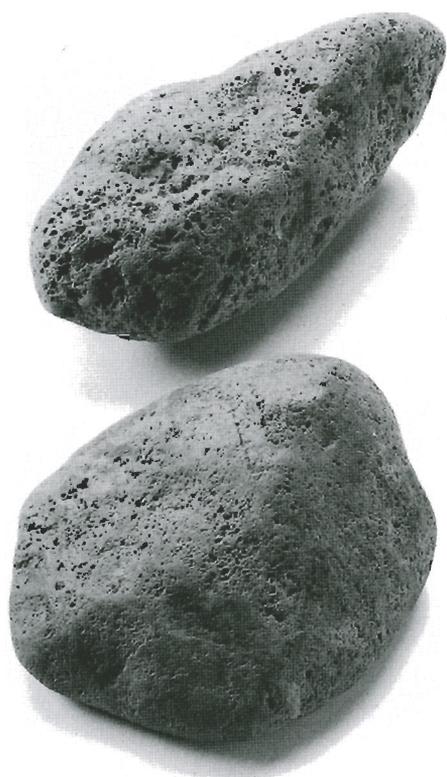
S-16



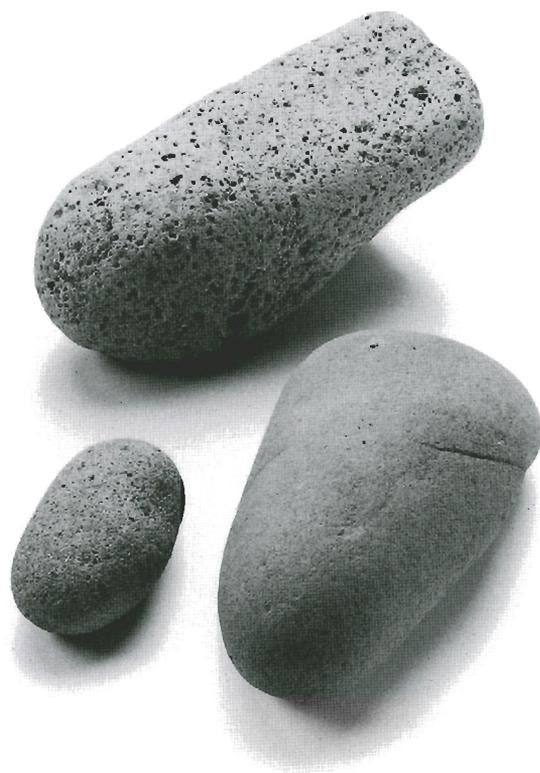
S-17



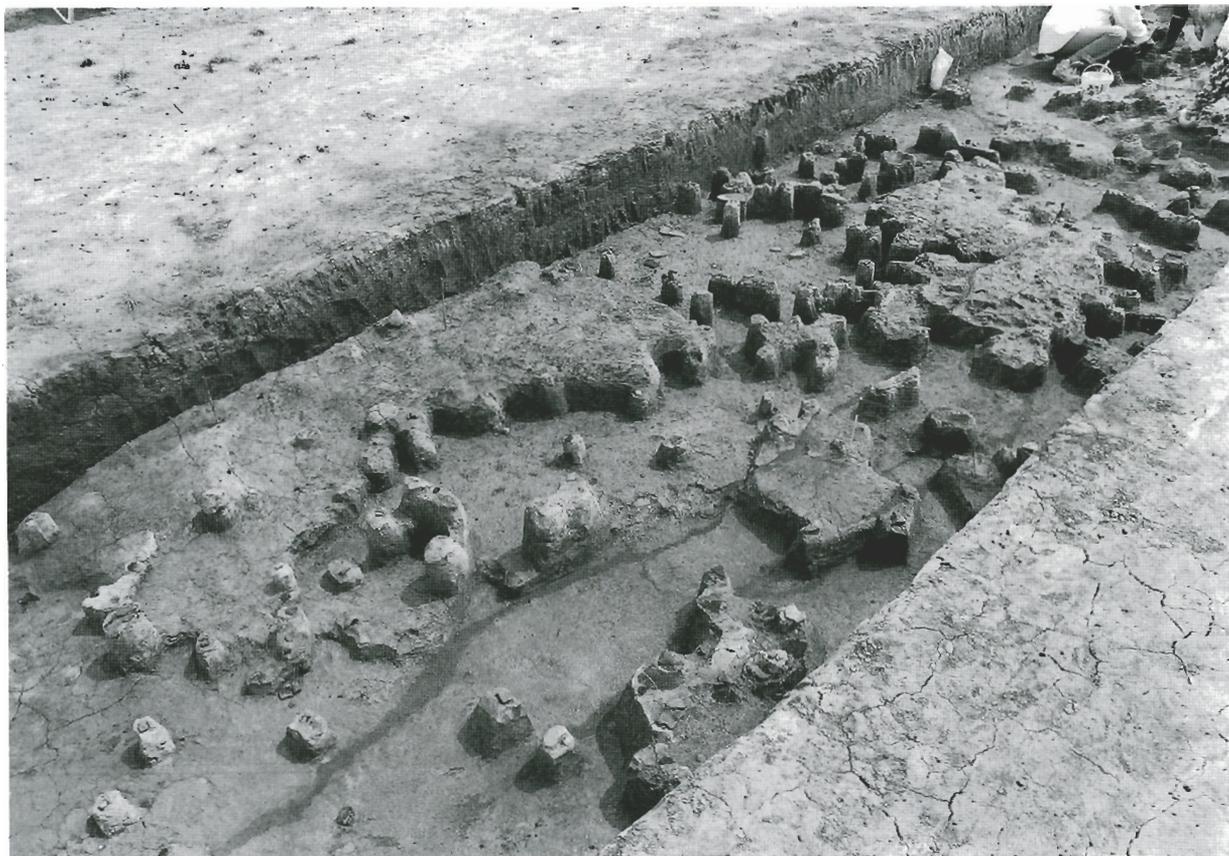
S-18



S-19



S-20



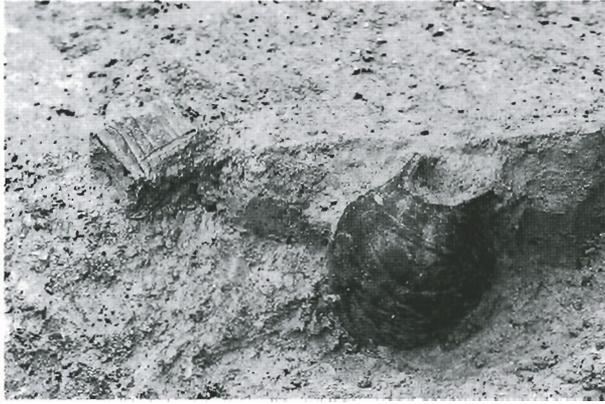
65-158-ウエ・66-158-ウエ（生活面 130~132）N→S



67-158-工（生活面 133~134）NW→SE



69-158-ウ・70-158-工（生活面 189~194）S→N



67-154-ウ (生活面 166) NE→SW



67-156・67-157 (生活面 134) E→W



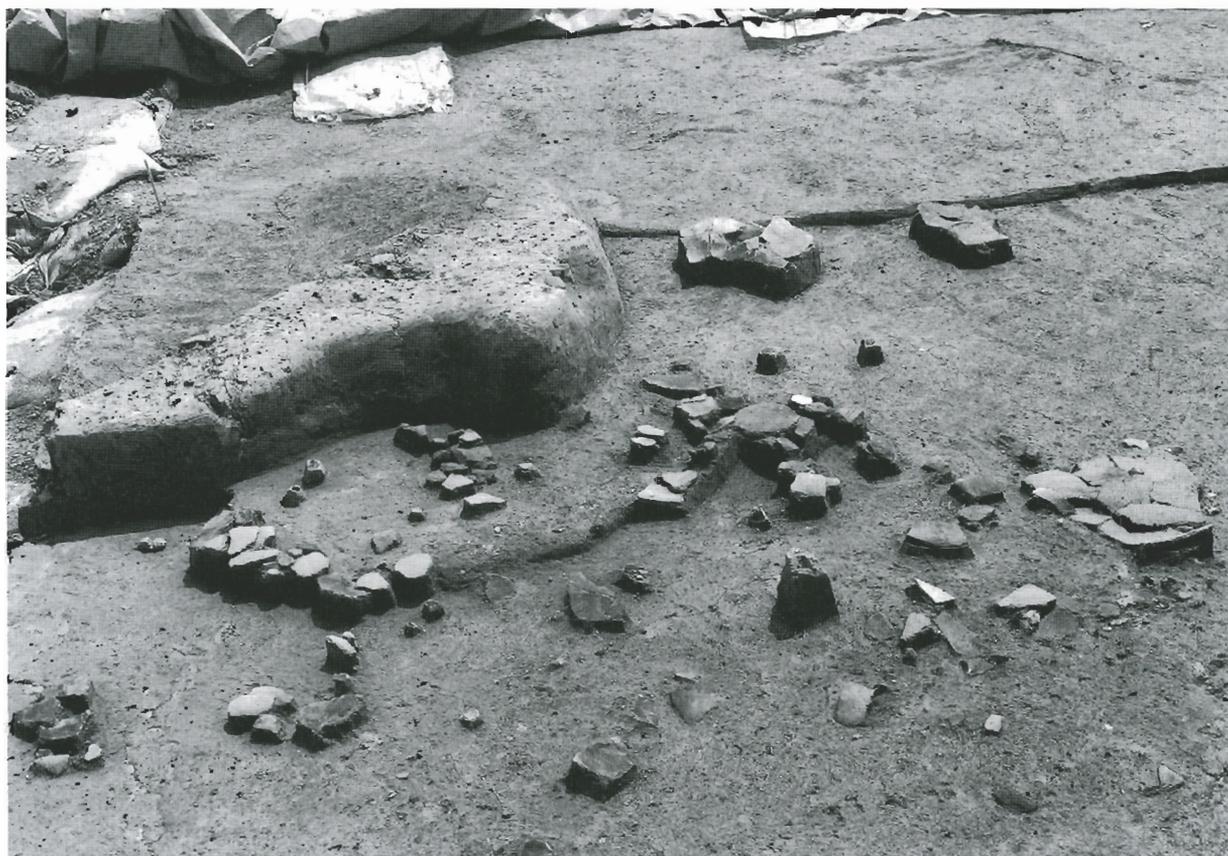
69-155-イ (生活面 154) N→S



69-157-エ (生活面 131) NE→SW



土器と白粘土塊 (66-157-ウ・生活面 189) NW→SE



70-158-ア (生活面 189) NE→SW



68-157-エ・68-158-ア (生活面 189) E→W



69-155-ウ・69-156-イ・70-155-エ（生活面 201）NW→SE



65-142-ウ（生活面 46）W→E



メノウチップ集中（66-138-エ・生活面 25）N→S



66-155-エ（生活面 187）NE→SW



N13



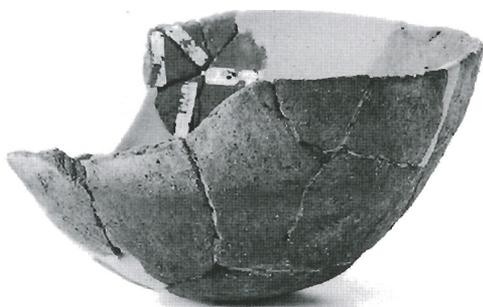
N52



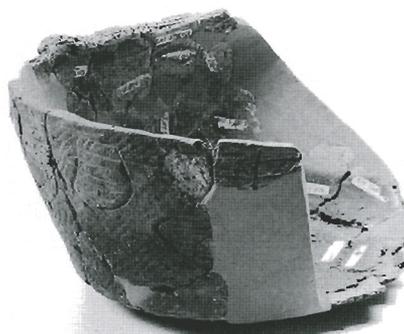
N64



N33



N71



N41

縄文土器の個体(1)



N46



N50



N34



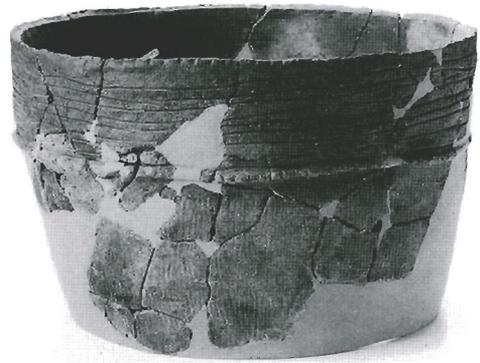
N40



N61



N12



N45



N48



N53



N57

縄文土器の個体(3)



N51



N51 内面



N44



N4



N49



N66



N3



N14



N15



N18



N19



N24



N29



N32



N76

縄文土器の個体(5)



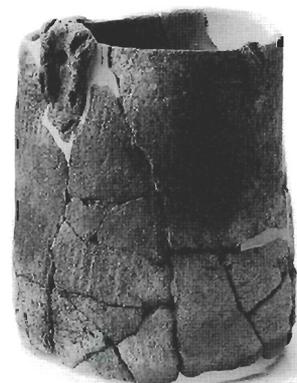
N8



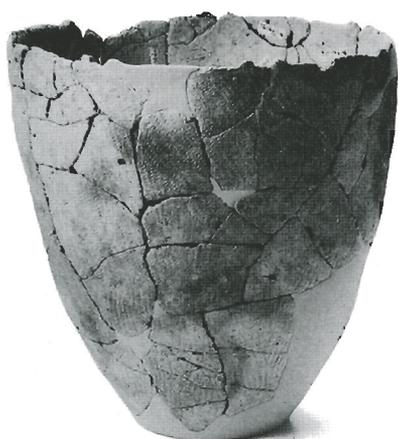
N47



N55



N59



N65



N69



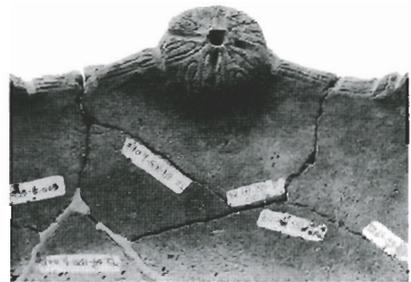
N1



N11



N20



N23 内面



N23



N23 内面



N35



N70

縄文土器の個体(7)



N31



N62



N6



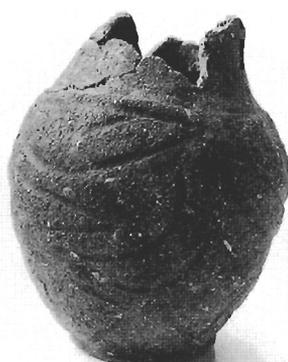
N63



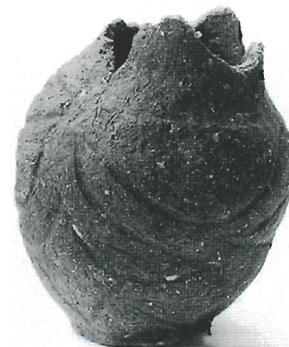
N7



N5



N5



N5



N9



N10



N17



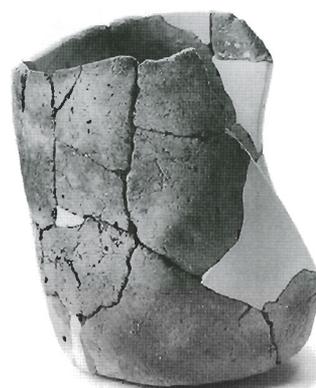
N27



N28



N39



N58



N60

縄文土器の個体(9)



N74



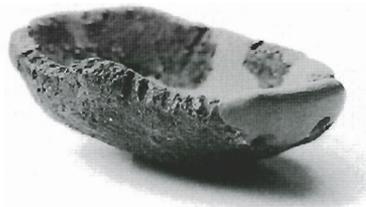
N75



N78



N79



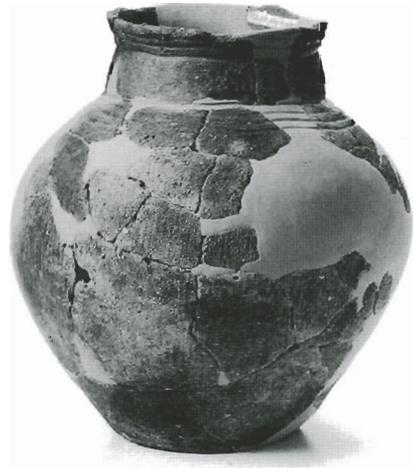
N80



N78



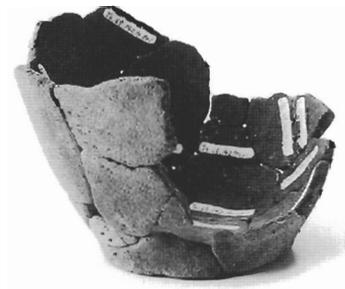
N81



N83



N25



13-507



13-522

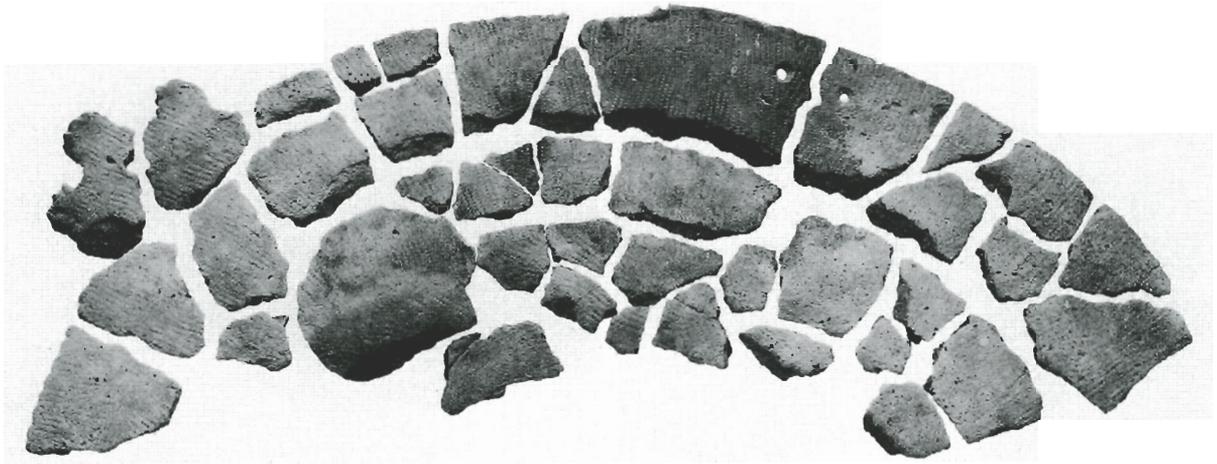


土器片の混和 (N53・実大)

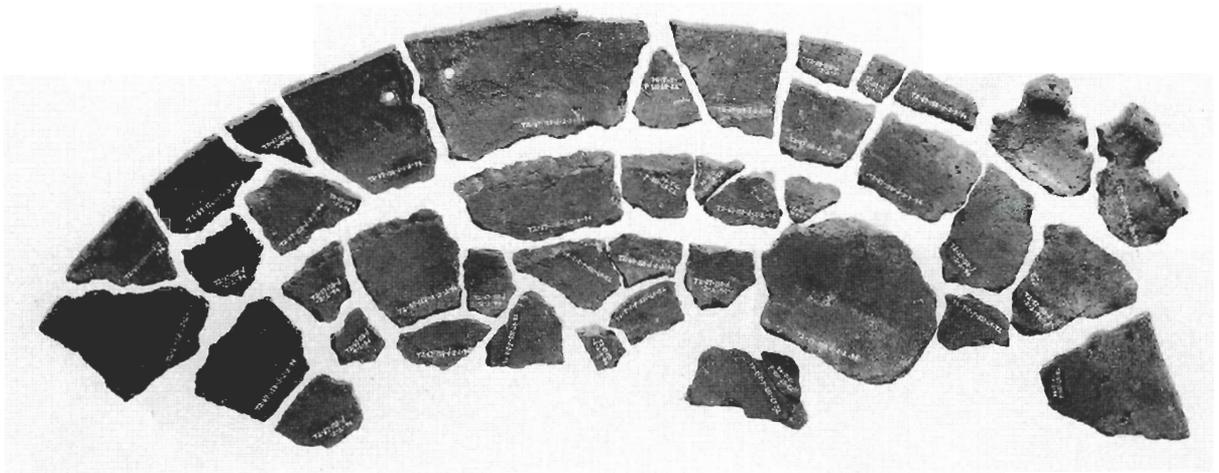
礫の混和 (13-12・実大)



土塊の混和 (N67・実大)



内傾接合面の露呈 (N16・外面)



同上 (N16・内面)



同上 (N41 底部内面・実大)



外傾接合面の露呈 (N44)



接合面の指痕 (N51)



接合面上端の波うち (N72・実大)



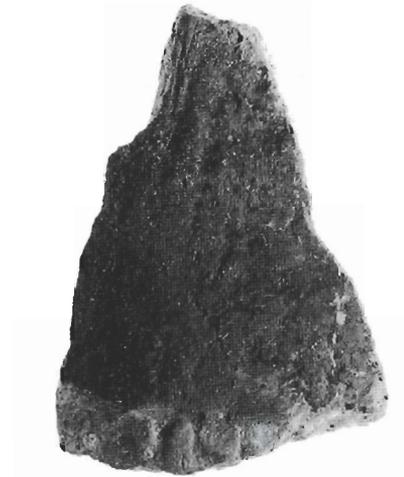
接合面の指痕 (N53・実大)



接合面の指痕・上端の波うち (13-282・実大)



接合面の圧痕列 (N36・実大)



同上の逆形 (N36・同一箇所) 接合面の圧痕列 (下) とその逆形 (上、N59・実大)



1~32



33~36

37・38

焼土・包含層の石器(1)



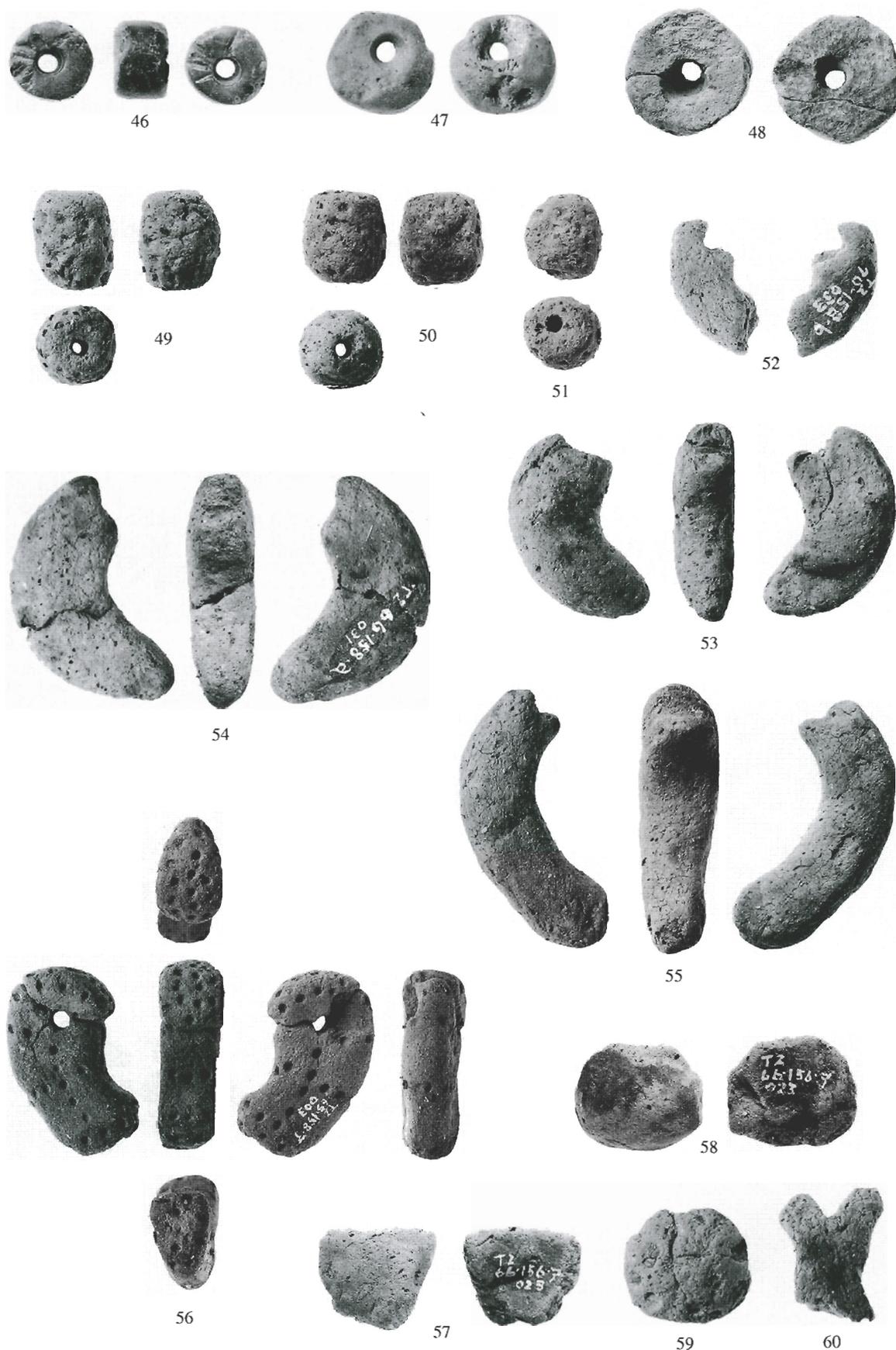
39~45



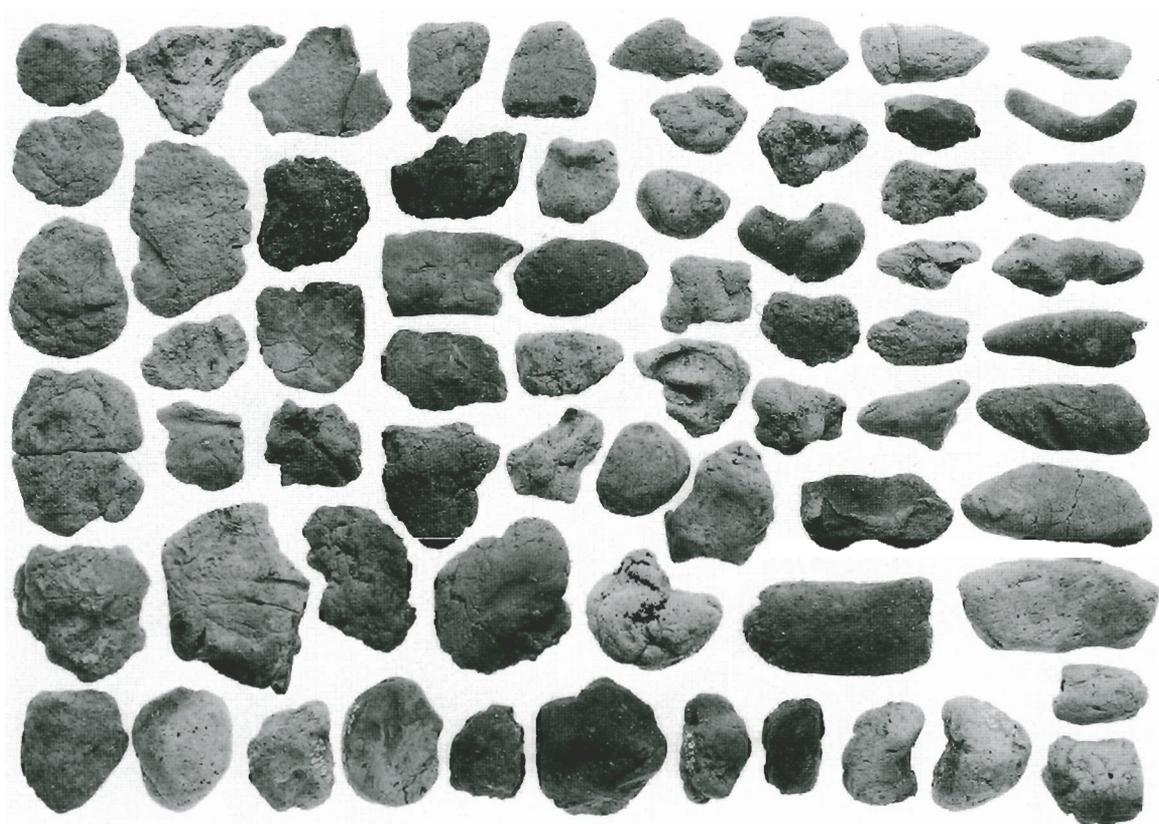
68・69

62~67

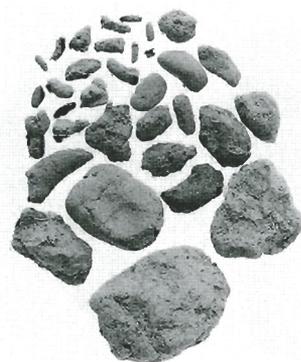
焼土・包含層の石器(2)



包含層の石製品・土製品



掘り出し遺物



フローテーション遺物・F-80



F-96 (上) ・ F-304 (下)



F-367



F-420



F-540



F-611

焼成粘土塊

財団法人北海道埋蔵文化財センター調査報告書第 193 集

江別市 <sup>ついでしかり</sup> 対雁 2 遺跡 (4)

—石狩川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—

発行年月日 平成 15 年 3 月 28 日

編集・発行 財団法人北海道埋蔵文化財センター

〒069-0832 江別市西野幌 685 番地 1

電話 (011) 386-3231

FAX (011) 386-3238

E-mail mail@domaibun.or.jp

印刷 山藤印刷株式会社

〒063-0051 札幌市西区宮の沢 1 条 4 丁目 16 番 1 号

電話 (011) 661-7161

FAX (011) 661-7173

E-mail mail@sando-sapporo.co.jp